

人を対象とする医学系研究「ヒト末梢血単核球を用いた自然免疫応答解析」にご協力の皆さんへ

本学では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる方一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	ヒト末梢血単核球を用いた自然免疫応答解析
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	(所属) 感染・免疫学講座 (職名) 教授 (氏名) 高村(赤司)祥子
研究の対象となる方	2021年4月1日から2024年3月31日までに「ヒト末梢血単核球を用いた自然免疫応答解析」にご協力いただいた教員、研究員および大学院生の方
研究期間	研究実施承認日 ～ 2026年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 当講座ではマウスの系を用いて補体制御因子による病原体認識機構 Toll-like receptor (TLR) の機能制御が存在すること、脂質認識に TLR 会合分子が重要であることを見出しており、これらの結果はヒトにおいても同様であるかを明らかにすることを目的としています。 〔利用方法〕 皆さんから採血を行った末梢血から単核球を分離して、$\gamma\delta$T 細胞や B 細胞、樹状細胞、マクロファージなどの免疫担当細胞を誘導します。その細胞を用いて、TLR をはじめとする自然免疫機構の制御や発現・応答等を調べます。さらに詳細な自然免疫応答機構を明らかにするため TLR 刺激前後の末梢血球を用いて網羅的解析法(Single cell RNA seq, LC/MS analysis)も行います。また自然免疫は獲得免疫にも密接にかかわり影響を及ぼすため、獲得免疫の指標として血清抗体価(免疫グロブリン濃度や、抗原特異的抗体価なども含む)や末梢血単核球での抗体産生能も調べます。これは採取した血清を用いて解析します。 また、愛知医科大学医学部 基礎医学セミナー、選択講義等(対象学生:2,3 学年)において、学生の教育のために、採取した血清を用いた実習を行う予定です。 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧可能です。ご希望の場合は、下記連絡先までご連絡ください。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当

研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：研究の対象となる方から採取した血液 情報：非該当
提供する試料・情報をを用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年10月31日までに郵送，電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 感染・免疫学講座 担当者：（職名）教授 （氏名）高村(赤司)祥子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 12366）